

# まるりん通信



第165号 平成26年3月発行

公益財団法人 屋久島環境文化財団 Tel.42-2911 FAX49-1018

## 屋久島環境文化村センター休館日変更します！

4月～6月, 11月～3月

7月～10月

### 第3火曜日休館

### 毎日開館

ゴールデンウィーク中は毎日開館しています！

(12月28日～1月1日休館)  
(2月15日～22日はメンテナンス休館します。)

## 屋久島環境文化村センター展示ホール一部リニューアル！

### 3月12日工事完了予定！ お楽しみに！

### 財団支援事業募集のお知らせ

(詳しくは屋久島環境文化財団までお問合せください。Tel.0997-42-2911)

屋久島環境文化財団では、下記の事業について支援金を希望される団体・個人を募集します。

#### ◇環境文化芸術活動支援

各集落に伝わる伝統芸能の保存会及び島内で優れた芸術活動を行っている個人、団体、グループ等に支援を行います。

支援金：7万円を限度とし3団体

#### ◇地域づくり支援事業（地域活性化枠）

NPO法人や、青年団などが、地域づくり活動等を行う個人団体で、事業にかかる財政的な支援を受けていないものに対して支援を行います。

支援金：支援対象経費の2/3以内とし、10万円を上限とします。(1団体)

#### ◇屋久島新特産品開発支援事業

屋久島環境文化村構想に基づく環境文化村ブランドの確立を推進するため、島内で商品の開発等に関する研究や活動を行う、団体、グループ等に支援を行います。

支援金：支援対象経費の10万円を上限とします。(2団体)

#### ◇屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業

屋久島(口永良部島含む)において、生物多様性保全を図るため、調査・研究を行っている大学・団体等これらに所属する個人が行う活動に要する経費に対し、助成を行います。

支援金：予算の範囲内において30万円を上限とします。 **4月15日締切**

#### ◇屋久島環境ボランティア活動支援事業

屋久島で自然環境保全を目的に活動する団体等に支援を行います。

支援金：支援対象経費の4/5以内とし、5万円を上限とします。(2団体)

#### 休館日のお知らせ

文化村センター 3/11(火), 4/15(火) ゴールデンウィーク中は全日開館しています

研修センター 3/15(月), 24(月), 4/7(月), 14(月), 21(月), 28(月)



## ～インストラクター便り～ 『センス・オブ・ワンダー』 研修センター 福元豪士

みなさんは自然の中にいると美しいもの、未知なもの、神秘的なものに思わず目を奪われたり、ハッとさせられたりすることがありませんか？この感覚こそが「センス・オブ・ワンダー」です。私たちは神秘さや不思議なものに目を見張る感性を生まれつきもっています。子ども達の世界は生き生きとして美しく、驚きと感激に満ち溢れています。しかしこの感性は、大人になるにつれ、自然から遠ざかり、人工的なものに夢中になりがちなので、鈍くなっていきます。



大人の方に「自然の中を歩いて何が面白いの？」とよく聞かれることがあります。確かにただ歩くだけでは面白くもなんともありません。例えば、子どもと一緒に自然の中を歩いてみるとどうでしょう。1つ1つのものに興味を持ち、好奇心に満ち溢れた子ども達の姿を見ているといろんなものが見えてくるはず。海洋生物学者であり、詩人であったレイチェル・カーソンはこんな言葉を残しています。

『「知る」ことは、「感じる」ことの半分も重要ではない。』

私たち大人は、自然のことを一生懸命に知ろうとしているうちに大切な何かを忘れていく気がします。もう一度子ども頃の純粋な気持ち「センス・オブ・ワンダー」を思い出し、自然の中に出かけてみませんか。

参考文献：センス・オブ・ワンダー 著 レイチェル・カーソン 訳 上遠恵子

### 第5回屋久島研究講座

## 『屋久島の花崗岩と金属資源』

講師：屋久島環境文化財団中核施設館長

根建 心具

期間：平成26年 3月22日(土) 19:00～

場所：屋久島環境文化村センター（宮之浦）

※詳しくは文化村センター(42-2900)まで。

のんびりゆったり里のエコツアー②中間集落

『キビ刈りから黒糖精製体験しませんか？』

中間集落では毎年、集落内のサトウキビ畑でキビを収穫し、黒砂糖を作ります。

集落の方といっしょに黒糖精製まで体験してみたい方、大募集！

開催日：平成26年 3月22日(土)、23日(日)

※宿泊なしの2日間

対象・定員：一般(中学生以上)10名(先着順)

参加費：3,000円(食事代・保険料等)

申込締切：平成26年3月14日(金)

※お申し込み・お問い合わせは研修センター(46-2900)まで！

### ◇◇◇財団の活動報告◇◇◇

○自然体験セミナー「屋久島感動めぐり～冬の屋久島めぐり～」2月8日～11日開催

島外のみならず島内の方にもご参加いただきタンカン収穫や職人めぐり、陶芸体験などを行いました。参加者からは、「普段知ることのない屋久島の職人や食を知ることができました」など様々なご感想をいただき楽しんでいただけました。

○第3回まるりんカップ軟式野球大会 2月22日開催

まるりんの始球式で幕を開け、総当たり形式で計3試合を行い、優勝は中央中学校となりました。天候は連日の雨模様からうって変わって絶好の野球日和となりました。接戦を繰り広げるはつらつとした選手達のプレーに父兄の方々の応援にも熱が入っていました。



○屋久島研究講座「ウィルソンと屋久島」と「ウィルソンの里めぐり」の開催 2月22日、23日開催

2月22日、村センターにおいて、作家の古居智子先生をお迎えし、ウィルソン博士のフィールドノートや、書簡などから集めた情報もとに、博士の功績と屋久島での行程について詳しくお話ししていただきました。

翌23日は、ウィルソン博士が残してくれた屋久島の写真の撮影場所を中心に博士の足跡をめぐるツアー(志戸子、楠川)を開催しました。



サイクリング屋久島の前夜祭・中学校離島甲子園選抜大会「まるりんカップ」の始球式など、寒い中、引っ張りだこで忙しかった2月の「まるりん」。

サイクリング屋久島で



春が近づき暖かくなってきた森の中で、ポカポカな日差しを浴びながら、本格的な春に向け、今ごろお昼寝でもしていることでしょう。